

陸前高田から学ぼう避難計画！

～もろろで地震が起きたら？～

1期生
大山 ほか
斎藤 明莉
丸山 八寧
渡邊 由基
高橋 咲良
西川 新

学んだこと

津波の速度: 時速800km (ジェット機と同じ) ▶ 震源の深さに比例し、津波の速度も変わる。

二次被害: 火災、停電、引き波 (津波のうち海に引いていく波。威力がすさまじい)

東日本大震災時の陸前高田ではビル5階分程の津波が襲い、扉がくの字に曲がった30cmで人、60cmで車が流される

＜揺れの気付きにくさ＞

建物の① → 気付きやすい / 建物の② → 気付きにくい

＜警戒心の違い＞

高い所と低い所では、警戒心が違う

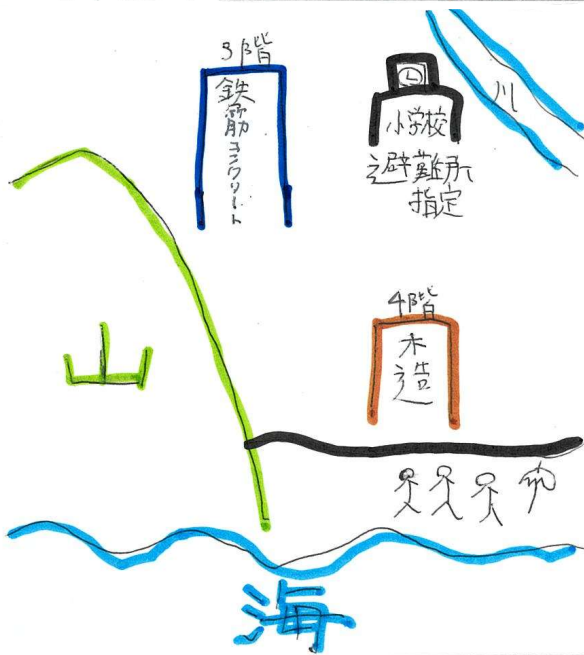
高い所だと海の様子
細く見えてしまう

★家族との事前の避難所確認★車で逃げる時に鍵をさし、ばなしに★水と食糧を大セリに★等々★
天災は忘れた頃にやってくる。津波が来る前、陸前高田は、普通の美しい街だった。日頃から当たり前

を大セリにする。自分の命とお互い様精神があれば、どこからでもマイナスからでも立ち直ることができるのだ。

想定条件

マグニチュード9.0、震度7の大地震。
友達と海に来ていて地震がおきる。
そして、津波がくる。



行動計画

＜地震発生＞

- ① まずすぐに陸に上がる。一緒にいる人と集まる。
- ② その次は、スマホや財布などの貴重品を持ち、山に逃げる。
- ③ 山に登ったら、下へは降りず上へ上へと逃げて行く。その時、市内放送などで情報を集めておく。
- ④ そして救助が来るのを待つ。津波警報が解除されても自分から逃げようとはしない。津波警報が解除されていても、危険は消えていない可能性がある。
- ⑤ 無事に救助が来て避難所に行くことができたなら、公衆電話などで家族の安否を確認する。

根拠

山に逃げた理由は陸前高田市で、津波が来たときに、遠くに逃げるより、

高い所に逃げるほうが安全だからです。

木造の建物に逃げなかった理由は、海に近いので、津波に流されるからです。

鉄筋コンクリートに逃げなかった理由は、ガラスが割れてあぶなっからです。

学校に逃げない理由は、近くに川があってはらんしたらあぶなっからです。

まとめ
地震が起きたときは、津波が来るので、遠くに逃げるのではなく、高い所へ逃げ、あたり前に感謝する。日頃から防災の意識を高めて、震災が起きたときのために準備しておく。地震が起きたときには、いせいに動かないで、冷静に行動する。